

国立大学図書館協会平成 20 年度臨時理事会 議事要録

日 時：平成 20 年 12 月 10 日（金） 17：30～18：00

場 所：東京大学総合図書館 3 階 大会議室

出席者：別紙のとおり

1. 開会

星野事務局長（東京大学・事務部長）から、文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室の飯澤室長、膝館情報研究推進専門官にご出席いただく旨、紹介があった。

2. 開会挨拶

西郷会長（東京大学・館長）から開会の挨拶があり、引き続き、藤井副会長（京都大学・館長）から、交替の挨拶があった。

3. 報告事項

西郷会長から、同日実施されたシンポジウム「学術情報の流通改革を目指して～電子ジャーナルが読めなくなる 2～」に関連して以下の報告及び説明があった。

- ・エルゼビア サイエンス・テクノロジー CEO に対し、西郷会長、伊藤合同電子ジャーナル・タスクフォース（以下「合同 EJ タスク」）主査（名古屋大学・館長）連名で、電子ジャーナルコンソーシアム契約についての質問に前向きな回答を求める旨のレターを送付した。
- ・上記レターに先立ち、エルゼビア シンガポール（アジア・パシフィック本部）からマネージングディレクターが 2009 年 1 月 1 日付けで交替し、後任者を改めて合同 EJ タスクとの交渉に対応させたいとの連絡があった。
- ・これを受けて、2009 年 1 月に合同 EJ タスクとアジア・パシフィック本部の新マネージングディレクター及びエルゼビア本社マネージングディレクターとの交渉の場を、可能であれば設ける予定である。
- ・学術情報流通改革検討ワーキンググループで検討している「オープンアクセスに関する声明（案）」をブラッシュアップして、早々に表明したい。

最終案が完成次第、理事館に送付するので、ご意見をお送りいただきたい。

4. 協議事項

(1) 電子ジャーナルコンソーシアム契約の今後について

西郷会長から、来年 1 月のエルゼビアとの交渉後、合同 EJ タスクの伊藤主査と調整の上、今後の方向性に関する案を送付するので、ご意見をいただきたいとの説明があった。

なお、シンポジウム発表資料及び各大学向けのシミュレーション用キットについて、後日参加者に事務局から送付する旨確認があり、各地区の参加していない大学に対しては、理事館からシンポジウムの内容等について説明してほしいとの依頼があった。

また、伊藤主査から、来年 4 月以降の電子ジャーナルに関する交渉体制を整えておく必要があるとの発言があった。

5. その他

秋季理事会（平成 20 年度第 3 回）での協議事項であった理事及び監事選出方法に関する各地区協議の状況について、報告及び意見交換が行われた。

6. 閉会

国立大学図書館協会
臨時理事会出席者

平成20年12月10日(水)
17:30~
東京大学附属図書館大会議室

北海道大学	館長	逸見勝亮
東北大学	事務部長 総務課長	北村明久 加藤信哉
筑波大学	館長 副館長 情報管理課長 情報サービス課長	植松貞夫 田中成直 関川雅彦 高橋努
東京大学	館長 事務部長 総務課長 情報管理課長 情報サービス課長 教養学部等図書課長	西郷和彦 星野雅英 栃谷泰文 木村優 藏野由美子 市村櫻子
一橋大学	館長 学術・図書部長 学術情報課長	渡辺雅男 大場高志 長友良維
新潟大学	館長 学術情報部長	矢田俊文 友光健二
名古屋大学	館長 事務部長 情報管理課長	伊藤義人 川瀬正幸 井上修

京都大学

館 長
事務部長
総務課長
情報管理課長

藤井讓治
長坂みどり
三原英夫
木下 聡

大阪大学

館 長
事務部長
図書館企画課長

小泉潤二
細戸康治
片山俊治

広島大学

館 長
副図書館長

田中久男
石井道悦

九州大学

館 長
事務部長

丸野俊一
濱崎修一

(監事館)

千葉大学

館 長
学術情報課長

西村靖敬
上原正隆

神戸大学

館 長
事務部長

武田 廣章
棚橋 章

(オブザーバ)

文部科学省研究振興局

情報課学術基盤整備室

室 長
情報研究推進専門官

飯澤隆夫
膝館俊広